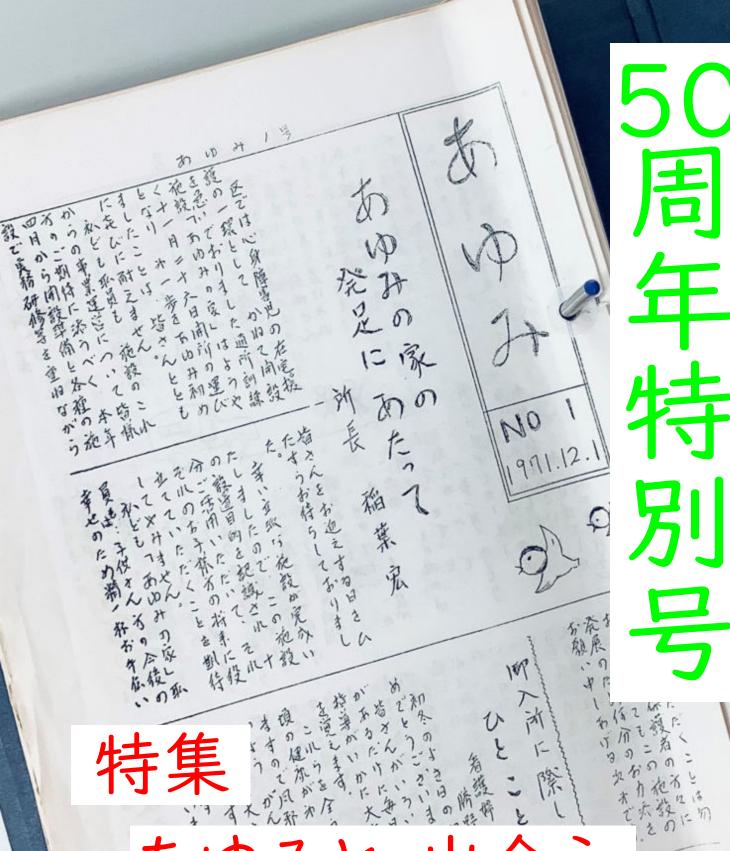
施設とひと、地域、社会を笑顔でつなぐ・・・

2021年7月吉日発行

No.217





LES MILE

(1)

H M M

かんかべい

行力

はじめまして。新所長の中村拓です

障害福祉との出会い

療関係の職についていた影響も大 族全員(父・母・姉2人)福祉・医 残っています。高校卒業後、福祉を 福祉に関わる原体験として鮮明に 夏の思い出でした。それがわたしの キャンプ時間を過ごす2泊3日の いながらも歌って、踊って、楽しい 自分と何か違う仲間と共に、戸惑 点は私の中にないので、ただただ、 ました。当時、『福祉』なんていう観 泊するキャンプに毎年参加してい 学ぶために大学に行きました。家 小学校時、障害者の方と共に宿

もらい今に至ります。 なく、結果、不採用。法人の事 時はまだ人材難という言葉は 非常勤として何とか採用して 業スタイルが素敵だったので 、就職活動に入りましたが当 障害福祉に関わろうと志

や苦しさを経験する一方、 勤務の中で、幅広い事業を通 し、自らの力不足による、葛藤 法人内外の様々な方との出会 非常勤時代含む17年ほどの

印象が強く残っています。 第一印象は『笑顔』でした。利用者も介助者も笑っている場所、そんな 約16年前に研修であゆみの家には来ていました。区の直営時代です。

たちが、『自分らしさ』を発揮して、ワクワク感動できる様にしっかりサ ポートしていきたいです。 やりきるカ、サポートカ・アイデアカに感嘆、まさに『彩り』にあふれて ず)」が入りました。利用者の持っている力、強みに驚き、職員の実行力 います。管理者として、支援員・利用者という枠ではなく、ここに集う人 そして現在、第一印象は変わらず、『笑顔』!そこに加えて「多彩(多

より深い繋がりと新たな出会いの場となるよう、自分が出来ることを 伝えするとともに、地域福祉を支える一つの拠点として、あゆみの家が しっかり実行してまいります。。 あゆみの家は50周年を迎えます。関係者の皆様に深く感謝の意をお

中村 拓(なかむら たく)

経歴:埼玉県出身

区立障害者センター・在宅自立支援事業(ホームヘルプ 介護保険通所事業部・地域包括型支援事業(グループホー

家族:二児の父。どちらかといえばイクメン。

趣味:アウトドア、キャンプ(ソロでは無い)



50年目の 新しい仲間

今年は特別支援学校を卒業された 澤口翔さんが、新しくあゆみの仲間入り。

入所式は今年も新型コロナウイルス感染症対策の為、各グループの部屋からリモートでお祝いをしました。

注目されると、少し緊張気味の表情…。 みんなで『空も飛べるはず』を唄い、ユニークなグループ紹介に思わず笑いがこ ぼれ、次第に楽しそうな表情になっていきました。

最後に同グループのメンバーから花束と フラワーシャワーの歓迎を受け、笑顔で新 たな生活がスタートしました。





あゆみの家今昔コーナー





50歳座談会**あゆみも50なら私も50!**

あゆみに集う「1971年生まれ」5名による、 イキでイソジな座談会。ざっくばらんにも程がある!?

あゆみと、出会う。 meet to Ayuminoie 50年目の 同級生



川尻ハピ子さん【仮名】

馬場秀樹さん(サンバ31) 栗田俊弘さん(ポルカ)

アッコさん(シリウス)



最近、ウクレレ修行開始。 チューニングに悩む日々。

美声の持ち主。 ソプラノを響かせ、 ハグを求める。

新井良枝さん(ポルカ)

棚卸し中。 自由を探す旅の途上。

涙もろいミュージシャン。 朴訥とした、味のある

子育でも一段落し、 50歳からの ボサノバ弾き語りが人気。「自分探し」がテーマ。



-幼少時の記憶といえば?

川尻:テレビも写真も、カラーでした!(自慢げ) アッコ: 「口裂け女」が流行って、学校が休校になり ました!

栗田:初恋は幼稚園です。他の男の子がその子に ちょっかいを出すたび怒ってました。

-新井さんと馬場さんは、どんな子だった?

アッコ: 新井さんは小さい頃、実家のお肉屋さんの 店先にいて、お客さんに「よっちゃん!」って呼ばれる 看板娘だったんですよね?

馬場:(ずっとカメラ目線)



ーじゃあ、ちょっと皆さんの幼少時写真を見てみま しょうか!



一同:かわいい~~!!



新井: (写真に手を伸ばし...笑っている) 川尻:馬場さん、お母さんキレイ!ミニスカート履い

アッコ:栗田さんは音楽やり始めたのいつ? 栗田:高校かな。BOØWYとかやってた。 アッコ:バンドブームだね!イカ天!誰推しでした? 川尻:たま!



(馬場さん 0才)





(新井さん 0才)



、 ※最初は百人町にありました。

-盛り上がってますが、「50年」って、どうですか? 川尻:…あと、20年ぐらい?

アッコ:そういうこと考えるようになったよね!(笑) 栗田:俺はいいけど、女性は歳バレてもいいの? アッコ:そういうこだわり、もういいかな~って思える のが、50かな。

川尻:踏ん切りつきましたよね。

ー「あゆみの家」好きですか?馬場さん。 馬場:「ふっ」(と、素早く頷く)

一新井さんは、あゆみ生活長いんですよね。幼児部 からずっと…。

新井: (遠慮がちに口を開け切らずあくびをする) アッコ: 今、新井さんあくび我慢したよ! 空気読んで る~(笑)



一最後に、職員の皆様から何か一言。

優しくしてくださいね!(笑)

栗田:絶賛「男性支援員募集中」です。今、おふく ろの介護で大変なんだけど、辞めるっていう発想は 全然出てこないですね。いい職場だと思いますよ。 アッコ: 職員も利用者さんもいろんな個性が集まっ て、バッティングせず、うまく引き立てあえてる職場 だと思います。私はあゆみに来てから「自分らしさ」 みたいなものを感じられるようになったので、自分 探しとか、自分の本質みたいなものを見つけたい 方に、あゆみはぴったりなのかなって思います。 川尻:おお、すごい!半世紀生きたね~。これからも



会議室貸し出しについて

新型コロナウイルス感染症対策のため、会議室のご利用につきましては、下記の利用条件をお守りください。 利用条件

「会議室等利用申請書兼承認書」とともに受付時にお渡しした「新型コロナウイルス感染拡大予防のためのチェックリスト」をご提出ください。

※安全が確認できない場合や記入に不備がある場合は、利用できませんのでご了承ください。

- ・必ずチェックリストを確認し、ご記入ください。
- 特にご利用される方の体調、体温は、ご利用前に必ず確認して来所してください。
- ·(人数制限) I O 名まで。
- ・全員マスクをしてください(施設では用意しておりません)。
- ・来設時に必ず手指消毒をおこなってください。
- 飲食はしないでください。
- ・窓、ドアを開放し、換気をおこなってください。
- ※利用条件を満たしていない状態で来所される方がいらっしゃいます。

全員の体温をきちんと確認し、10名以下でのご利用をお願いいたします。

~編集後記~ ⑤













梅雨の晴れ間の空に、風にのって雲が流れていくのを見ていると飽きません。あゆみでも、毎日個々のエピソードが雲のように生まれて、時が流れていくのかなと思いました。

50周年特集号いかがでしたでしょうか。今回は「出会い」をテーマに、あゆみの家の様々な出会いを特集しました。そして、本号の編集はICTやSNS担当、また運営サイドからの職員がまさに出会って、企画から誌面のデザインまで携わりました。利用者を含めた所内の活動を写真や記事で発信していく上で、皆の真摯な意見が熱く交わされました。そんな50年目の今の雰囲気も、お届けできたらいいなと思います。

最後になりましたが、取材にあたって思い出の写真 や文章を寄せてくださった皆様に感謝いたします。

(木村)













~今回の表紙~



表紙は1971年12月発行の「季刊あゆみ」(現在のあゆみだより)1号です。まさか、50年後に再び表紙を飾るとは思ってもいなかったはずですよね。

紙面はすべて手書きで、こんな 似顔絵の記事も。

ここに描かれた方も、 まさか50年後に再掲載さ れるとは夢にも思っていな かったでしょう。

今回のあゆみだよりも、

50年後の編集担当が見つけてくれるかもしれません。その時は、紙ではないかも。。。

50年後の皆さん、僕を見つけてくださいね!

新宿区立あゆみの家は今年、50周年です。 これまで出会ってきたすべての人に感謝し、 これからも一歩ずつ、あゆんでいきます。

あゆみと、出会う。
meet to Ayuminoie
地域のみなさん



上がったり 下がったり 笑ったり **since | 97 |**

はじめました!
50周年お祝い企画や
50周年お祝い企画や
日々のワクワクを随時投稿中!!
あたたかいコメント待ってます。

Facebook



Instagram



SHINJUKU_AYUMINDIE

新宿区立あゆみの家:新宿区西落合1-30-10 TEL:03-3953-1230